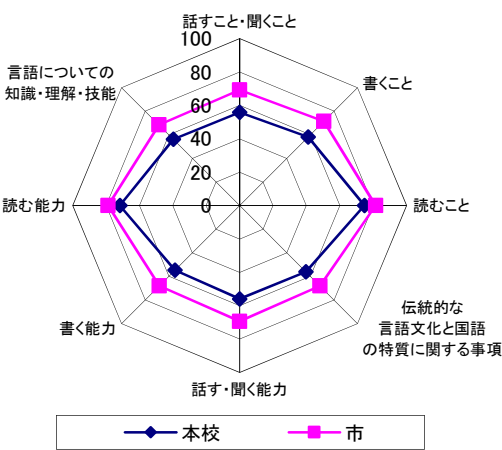


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	55.9	69.3	73.4
	書くこと	58.0	71.3	74.6
	読むこと	74.8	81.5	81.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	56.1	68.1	71.6
観点別	話す・聞く能力	55.9	69.3	73.4
	書く能力	54.7	68.1	71.7
	読む能力	71.7	78.8	79.0
	言語についての知識・理解・技能	56.2	68.4	72.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	本校の平均正答率は市の平均と比べると低い。 ○話し合い活動の内容から、司会者の役割を理解して質問に答える問題は他の問題と比較すると正答率が高い。 ●話し手の意図を捉えながら聞き、聞き取った内容を自分の言葉でまとめる問題の正答率は15.2%と市の平均より14.7ポイント低い。	・聞き取った内容を整理しながら理解することが苦手である。話し合い活動などを行う時には、各自必要なことをメモに取るようにし、様々な意見を自分なりに整理することに慣れさせたい。
書くこと	本校の平均正答率は市の平均と比べると低い。 ○提示された2つの方法のうち、どちらがよいと思うかについて自分の意見を書く問題は他の問題と比較すると正答率が高い。 ●自分の考えを2段落構成で書く問題の正答率は58.1%と市の平均より17.2ポイント低い。	・自分の考えを文章にまとめることが苦手である。また、文字数や段落構成などの条件を指定されるとさらに苦手な傾向が強まり、無回答率が増えている。条件を指定して、自分の考えをまとめる活動を取り入れ、文章を書くことへの抵抗感を少なくしていきたい。
読むこと	本校の平均正答率は市の平均と比べると低い。 ○場面の描写と登場人物の心情を読み取り、選択する問題は他の問題と比較すると正答率が高い。 ●登場人物の心情を読み取り、選択する問題の正答率は76.2%と市の平均より10.2ポイント低い。	・文章量が多い問題の読み取りが苦手である。読書活動を取り入れることで長い文章への抵抗感を少なくしていきたい。また、質問に関するキーワードがどこにあるのかを見つける活動を丁寧に行うことで、文章が長くても的確に理解する力を高めていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	本校の平均正答率は市の平均と比べると低い。 ○6学年の漢字を読む問題の正答率は他の問題と比較すると正答率が高い。 ●三字の熟語の構成について、成り立ちが同じ熟語を選択する問題の正答率は62.9%と市の平均より22.6ポイント低い。	・漢字の定着が不十分である。既習内容を復習する場を設ける。 ・熟語の構成についての理解が不十分である。熟語が出てきた時に構成を確認する場を設ける。